

研究会での二次的利用の検討に当たっての考え方や守るべき原則（案）

1. 二次的利用は、ニーズに過不足なく対応することが望ましい。

2. 二次的利用における有用性の向上と秘密の保護は、二律背反である。
このバランスを確保するにあたり、
 - 1) 国民・企業の信頼を損なわないようにするため、データを秘匿する措置、漏洩等を抑止するシステムやプロセスの安全性のの程度保障などを確保する。
 - 2) 有用性の向上と秘匿の程度のバランスの判断にあたっては、諸外国の状況や経験を参考とする。

3. 二次的利用は、統計の作成や統計的研究を行うことを想定し、個別の標本の識別を行うこと、個別のデータに着目した利用など統計目的それ以外の使用は想定しない。